

# シヨールストレミング

作・阿部慎一郎

## 登場人物

### 人間

笛吹恭平  
葦山太郎  
定禅寺兼安  
矢本愛子  
まさる  
蛇田恵子（しのぶ）  
滝川グリシテル（照子）

### 菌の世界

フルフル  
ポツリナム  
メタン  
アクネス  
蠅

### その他

少年葦山	少年笛吹	青年葦山
青年笛吹	青年滝川	不良1
不良2	不良3	
部長		
店員	記者1	記者2
記者3		
細菌たち		

## シーン1

フルフルと葦山と笛吹以外の出演者、登場。

全員 シュールストレミング。

フルフル ニシンは、気密性の高い缶の中で2次発酵を繰り返す。発生したガスにより缶は丸く膨張。開封する際は、そのガスによって汁が噴出し、缶の中の悪臭が拡散される。

葦山と笛吹、登場。

葦山 自分で選んだ道なんだし、

笛吹 やりたいこともやれている。

葦山 大きな夢もある。

笛吹 幸福なはずだ。

葦山 芽が出るまでに時間は掛るけど、私は少しも腐ってなんかいない。

笛吹 そう思わないと私はいつか膨張して破裂してしまうだろう。

2人 今日も1日、自分の悪臭と闘う。

フルフル もしも、ニシンではなく、缶の中にヒトが入っていたら、それはどんな匂いがするんだろうか。

## シーン2

小学生時代の笛吹と不良1、2、3登場。  
少年笛吹は、不良たちにカツアゲに遭っている。

不良1　もっと飛んで見せろよく。  
不良2　まだ持ってたんだろ。  
不良3　スピード上げてけ！  
少年笛吹　うお〜！  
不良全員　もっとだ！　もっと！

少年笛吹、ジャンプするのを止める。

不良1　おいっどうした。  
少年笛吹　もう疲れた。  
不良1　飛べよ。  
少年笛吹　どうして僕ばかりカツアゲするんだ。  
不良2　だって、お前母ちゃんいないだろ。  
不良3　それに父ちゃん働き詰め。  
少年笛吹　だから、何だよ。  
不良1　親が先生にチクる心配がねえんだよ！  
少年笛吹　なんて卑劣なんだ！  
不良2　これ以上、ひどい目に遭いたくないなら  
不良3　父ちゃんから給食費せびってこい！  
少年笛吹　無理だよお。  
不良1　はいっ、処刑開始ー。  
少年笛吹　うわああああ！

少年葦山、鉄パイプを持って登場。

少年葦山　まてえ！  
不良1　キチガイ葦山！  
不良2　キチガイ葦山がなんでこんなところに。  
少年葦山　そのの彼を放すんだあ。  
不良3　分かった。今放すから。その鉄パイプも降ろそうか？  
少年葦山　放さないなら全員鉄パイプ制裁だ。  
不良1　いや、ちよっと待て。

少年葦山、鉄パイプで不良全員を撃退する。

不良1　ちくしょう！　訴えてやるからな！

不良たち、退場。

少年葦山　（手を差し出す。）

少年笛吹　ありがとう。

少年葦山　うん。

少年笛吹　どうして僕を助けてくれたの。

少年葦山　俺も母ちゃんいないから、

少年笛吹　……あ、

少年葦山　俺、おかしいか？

少年笛吹　えっ？

少年葦山　いつもみんなそんな目で俺を見る。

少年笛吹　そんなことないよ。僕だってクラスで浮いてるし。

少年葦山　ホントか？

少年笛吹　うん。

少年葦山　お前、孤独か？

少年笛吹　え？

少年葦山　自分は孤独だと感じたことはあるか？

少年笛吹　あるけど。

少年葦山　じゃあ、俺たち友達だ。

少年笛吹　……そうだね。

少年葦山　孤独は仲間。孤独は友達。

少年笛吹　ありがとう。

少年葦山　お前、小説好きか？

少年笛吹　えっ好きだけど。

少年葦山　なお友達。

現在の笛吹、登場。

笛吹　これがN山君との最初の出会いでした。

情熱大陸のテーマ。

アナウンサーの滝川ゲリシテル、登場。

滝川　彼が笛吹さんの少年時代の心の支えになってくれたんですよね。  
笛吹　そうなんです。彼がいなければ僕は小説家なんて目指してなかったかもしれま

せん。

高校時代の笛吹、葦山、登場。

滝川 今夜の微熱大陸。ゲストは奇跡の天才作家、笛吹恭平さんです。彼の創作秘話を探ると共に、壮絶なる彼の過去に迫ります。

高校時代の回想その1

青年笛吹 よお。

青年葦山 ……。

青年笛吹 また部活サボってんのか。

青年葦山 なんか、もう体動かすのがめんどくさくてさ、

青年笛吹 それで大丈夫なのか？

青年葦山 大丈夫、大丈夫。

青年笛吹 厳しいんだろ？ お前んこの部活。

青年葦山 まあ、ねえ。

青年笛吹 自分で決めた部活なんだから最期まで続けなよ。

青年葦山 そりゃそうだけど、なんて言うか、やっぱ向いて無かったんだよねえ。

青年笛吹 ならお前も僕と読書愛好会入れば良かったんじゃないか？

青年葦山 嫌だよ。

青年笛吹 え？

青年葦山 なんか、お前と一緒にの部活は嫌だ。

青年笛吹 なんで？

青年葦山 特に深い理由はねえ。

青年笛吹 めんどくせえ奴。

青年笛吹、その場から去ろうとする。

青年葦山、笛吹の後を追う。

青年笛吹 なんだよ。

青年葦山 なあ、一緒に帰ろうぜ。

青年笛吹 部活どうすんだよ。

青年葦山 休む。

青年笛吹 しょうがねえなあ。

青年葦山 やったー。

青年葦山 そういうところ昔から変わってねえよな。

2人、帰り始める。

青年葦山 最近、何読んでる？

青年笛吹 「仮面の告白」



笛吹

こうして、僕はN山君が貸してくれた「ケツからチョモランマ」にどはまりし、高校在学中は世に出ている先生の出版物を網羅する勢いで読み漁りました。そして、僕もまた思いました、定禅寺先生のように人に感動を与える作家になりたいと。

滝川

そんな笛吹さんに、もう一人スペシャルゲストが来ていますよ。

笛吹

どなたですか。

滝川

笛吹さんの人生に影響を与えた方です！

笛吹

ま、まさか！

滝川

もう一人はこの方です。どうぞ。

定禅寺、自転車に乗って登場。

彼には神の後光が差している。

定禅寺、持つてるBIGカツで笛吹を引っぱたく。

2人

勝利のカツ！

笛吹

すっげえ！ 本物だああ！

滝川

ノーベル文学賞受賞者、定禅寺兼安さんです。

笛吹

お会い出来て光栄です。あなたと仕事をすることが、ずっと僕の目標でした。今まで頑張ってきたのも全て先生のおかげです。

高校時代の回想その2

ペンと作文用紙を持った青年笛吹、青年葦山、登場。

小説家になるための修行を積む笛吹と葦山。

青年葦山の執筆の手が止まる。

青年葦山

手が動かない。書くのはもう無理だ。

青年笛吹

諦めるな！ 葦山！

青年葦山

頼む。少しだけ、休ませてくれ！

青年笛吹

ダメだ！ 締め切りに間に合わないぞ！

青年葦山

う、うわあああああ！

青年葦山、自分の服をビリビリ破き始める。

半裸になると、巨人の星の飛雄馬が着用するような肉体矯正ギブスが露わになる。

青年葦山、それを壊そうとする。

青年笛吹

よせ！ 定禅寺先生みたいな小説家になるんだろ！

青年笛吹も着ている服を破くと、葦山と同じ肉体矯正ギブスを着用しているではないか。

青年笛吹 一緒に頑張るんだろう！！  
青年葦山 ちくしょうがあああああ！  
青年笛吹 葦山あああ！ 僕たち、売れる小説家になるぞおおお！

青年葦山、青年笛吹、お互いに取り出したBIGカツでビンタする。

2人 勝利のカツ！

場面は番組に戻る。

定禅寺 笛吹君、私みたいな小説家になりたいんなら太ることから始めないと駄目じゃないか。

定禅寺、四股を踏む。

滝川 あー。

定禅寺 でも、感無量。

笛吹 光栄です。

滝川 そして、高校卒業。

青年笛吹 ちよつと待って。

滝川 え？

青年葦山 2年後の衣装に着替えるから。

定禅寺 私もだ

着替えが終わり次第。場面はまた再現VTRに戻る。

高校時代回想その3

2年後。夕焼けの中、青年笛吹が卒業証書を持って登場。

その反対側より青年葦山登場。作業着を着ている。

青年葦山 卒業おめでとう。

青年笛吹 ありがとう。

青年葦山 ……。

青年笛吹 なんだよ。急に呼び出したりして。

青年葦山 今後離れ離れになるわけじゃん。俺ら。

青年笛吹 ああ。

青年葦山 だから、お前の決意を確認したくてさ、

青年笛吹 なるよ。定禅寺先生みたいな小説家に。

青年葦山 お、おう。絶対だぞ。

青年笛吹 らしくないな、どうしたんだよ急に。



青年葦山 お前は絶対大丈夫だと思う。国立大学に入ったし、才能あるし、頭いいし、将来有望だと思う。ただ、今後俺自身が自分の夢から折れないようにな。  
青年笛吹 一緒に売れる小説家になるんだろ？  
青年葦山 そうだけど、  
青年笛吹 あのな……、学歴なんてただの肩書に過ぎないよ。本当に必要なのは才能だ。僕は自分に才能が無いと思ってる。  
青年葦山 そんなこと言うなよ。  
青年笛吹 本当に才能あるのは、お前だ。葦山。  
青年葦山 え？  
青年笛吹 お前の作品は面白い。とても共感できる。そういうセンス、僕に無いからさ。  
青年葦山 ……遠まわしにいつもお前は俺のこと見下し来るよな。  
青年笛吹 本心だぜ。今のは、  
青年葦山 いいや、無意識にお前は他人のことを見下す癖があるんだ。

青年滝川、登場。

青年滝川 葦山さくん。  
青年笛吹 誰この子？  
青年葦山 俺の彼女。  
青年笛吹 え、うそ。  
青年滝川 うちのダーリンがどうしたんですか？  
青年笛吹 いや、自分に才能が無いって喚くんです。  
青年滝川 またメンヘラ拗らせてるんですね。  
青年笛吹 メンヘラかどうかは知らないけど。  
青年滝川 おら！ しっかりしろよ！ 約束守れよ！ チンコ付いてるんだろ！（おう  
ふくビンタ）  
青年葦山 う、う、売れるよー！

ビンタが止まる。

青年葦山 売りたい。  
青年笛吹 売りたいなあ。  
青年葦山 定禅寺先生みたいな小説家になりたい。  
青年笛吹 だせえな、俺ら。  
青年葦山 そうだな。  
青年笛吹 とにかく頑張ろうぜ、俺たち。  
青年葦山 ああ、  
青年笛吹 絶対負けないからな。  
青年葦山 お前こそ諦めるなよ。  
青年笛吹 産みの苦しみから逃げたらマジで吹っ飛ばすからな。

青年滝川　まあまあ、せっかくだし、3人でご飯行かない？  
青年葦山　うん。  
青年滝川　ダーリンと一緒にならご飯何杯でも行けるわ。  
青年葦山　あはは、やっぱり照子ちゃんはデブだなあ。  
青年滝川　私も、定禅寺先生みたいな小説家になりたかったから。  
青年笛吹　じゃあ、3人はライバルだね。

葦山、見ているテレビを消す

青年葦山、青年笛吹、青年滝川、笛吹、退場。

○スノーノイズの音。

### シーン3

笛吹、登場。

電話の着信音が聞こえる。

通話中、後ろよりガスマスクの男がゆっくり現れて笛吹の背後に立つ。

笛吹　もしもし？

蛇田　（聞こえない声で）もしもし。

笛吹　え……？　もしもし……音が遠くて聞こえないんですけど、

蛇田　（聞こえない声で）もしもし

笛吹　え？

蛇田　もしもし。

笛吹　あっ聞こえました。聞こえましたよ。もしもし、

蛇田　もしもし、笛吹神ですか。

笛吹　……なんで君がこの電話番号を知ってるんだ。

蛇田　あ、切らないで、今すぐそこから（再び聞こえなくなり）逃げてください。

笛吹　え？

蛇田　（聞こえない声で）逃げてください。

笛吹　もしもし……、なんだよ。

笛吹、電話を切ろうとする。

蛇田　逃げてください。

笛吹、背後にいるガスマスクの男に後頭部を殴られる。  
なすすべもなく倒れる笛吹。

転換。

フルフル、登場。

フルフル 私たちが生きているのは、地球。そこで生まれるあらゆる生物は必ず死を迎え  
ゆっくりと土へと還ってゆきます……。この過程で人に有害をもたらすものは  
「腐敗」。逆に人に有益をもたらすものは「発酵」と言います。この一見対極  
にあるかのように見える「腐敗」と「発酵」ですが、どちらもその経過は実は  
一緒なのです。この物語は、作家を目指し、12年間に渡り発酵していく笛吹  
恭平と、腐敗していく葦山太郎の嫉妬と憎しみの物語である。腐敗と発酵に大  
きな差はない、あるのはただ己の繁栄のみ。憎悪もまた、発酵する。

## シーン4

とあるニンゲンの死体、腐敗菌たちの世界。  
ポツリナム、登場。

ポツリナム 分裂体操第一ー！

「分裂体操第一」のテーマと共に細菌たち、フルフル、メタン、登場。

細菌 ポツリナム先生く！

ポツリナム、持つてる竹刀を床に叩きつける。

ポツリナム 股間を大きく開いてー、股から裂ける運動からー。1, 2, 3, はいっ

ポツリナム、股間が開かない者に対してダメ出しをしていく。

ポツリナム 次は人格を交互に入れ替えて、精神分裂を起こす運動ー。

ポツリナム、精神分裂が甘い者に対してダメ出しをしていく。

ポツリナム ここに分裂パワーが溜まってきたでしょう。次は、協力してやります。好み  
のAVを同時に取るうとして精神分裂を起こす運動ー。

ポツリナム、精神分裂が甘い者に対してダメ出しをしていく。

ポツリナム ストップ！ お前やる気あんのか？

フルフル はい。

ポツリナム 湧いてこねえのか？ 産みの苦しみがよ。

フルフル すみません。  
ポツリナム そんなはずねえだろ。(他の菌をさして) 見てみる。  
菌たち あん♡  
ポツリナム ああやって、気持ちいいヤツ、悪いヤツ。分裂の予兆来るはずだろ。お前調子乗ってるよ、裏でタイムンだぞ。  
フルフル はい。  
ポツリナム 名前なんて言うんだ。  
フルフル フルフルです。  
ポツリナム なんだと。

周囲が騒めく。

アクネス、登場。

アクネス 何事だ？ 分裂ビギナーキャンプ中じゃないのか？  
菌たち アクネスさまー！  
ポツリナム アクネス様、コイツが噂のフルフルです。  
アクネス お前がフルフルか。  
フルフル どうも。  
アクネス お前はどうかやってここへやって来た……？ 死体から急にウジが湧いたりしない。「どこから」かやって来たハエの卵を「介して」ウジは湧いて出て来る。それが分かったら苦労しないですよ。  
フルフル そうか、自分が何者か分からない。ましてや分裂も出来ないお前を我々の仲間として受け入れるわけにはいかない。  
メタン あの、アクネス様はそういう体の特徴で細菌を差別するんですか？  
フルフル メタンちゃん。  
フルフル 分裂できない細菌は異常だ。  
フルフル フルフルは分裂ができないんじゃないんですよ、ただ分裂する時間がかかるだけかもしれないじゃないですか。  
アクネス そんな細菌がこの世にいるはずないだろ。  
メタン 何故、そんな風に言い切れるんですか。  
ポツリナム アクネス様はこの細菌コロニーを統べるリーダー、お前なんかよりよっぽど長生きで、この世界のことを詳しいんだぞ！  
メタン 器の小さいリーダーなんですね。  
アクネス 何とでも言え。  
メタン (触覚に対して) 短小。  
ポツリナム た、タン塩？  
菌たち たんしお！  
メタン 短小！！  
ポツリナム なんてこと言うんだ！ てめえ！ これはアクネスさんの雄々しさの象徴だぞ！

菌たち (ブイブイ言わせてんだ！ などアドリブ。)  
アクネス こいつのこれだつてな！

メタン、アクネスの象徴を外して投げる

アクネス もういい！ 分裂する時、おつきいもん。分裂する時はおつきいもん！

アクネス、退場。

ポツリナム 後で裏に來い。タイムンな。

ポツリナム、細菌たち、退場。

メタン 仲間外れもつらいよね。

フルフル どうして細菌は分裂しなきゃいけないんだ。

メタン 仲間を増やしてこの死体を腐敗させること。それが私たちにとって生きるってことじゃん。

フルフル じゃあ、僕は無意識に生きることを放棄しているんだろうか。

メタン そんな訳ないでしょ！ フルフルだっていつも分裂のことで悩んでるじゃん。

フルフル うん。

メタン 悩むってことは、フルフルが生きたいって意思があるから悩むんだよ。

フルフル ……。

メタン 何弱気になってんの。

フルフル ごめん、

メタン 諦めるにはまだ早いつて。

フルフル そうだね。

メタン あんな奴らの言うこと気にすることないつて。

フルフル もっと広い視野で世界を見られるようになれたらなあ。

メタン そしたらフルフルが分裂できない理由が見つかるかもしれないね。

フルフル うん。

メタン ……わあ、突風！

フルフル う、うわー！！

風に担がれた蠅、登場。コントロールを失って墜落する。

メタン え？ 何？ 大丈夫ですか！？

フルフル メタンちゃん、今ソイツ空から落ちて来た？

蠅 ……。

フルフル いいから！ ちょっと目を覚ましてください！

蠅 あっふっあつ。

メタン 生きてる。  
蠅 突風に巻き込まれて意識を失っていたようだ。助けてくれてありがとう。  
フルフル いえいえ、  
蠅 お礼にいい物ものをあげよう。  
フルフル いいもの？

蠅、フルフルとメタンにうんこを渡し、食べる。

フルフル おいしい。  
蠅 だろ？  
フルフル これ、なんて言うんですか。  
蠅 うんこだ。  
フルフル 汚ねえ！（殴る）  
蠅 急に何すんだこの野郎！  
メタン （泣きだす）  
フルフル 犬も猫も飯を食ってクソをする。そのうんこの半分は俺たちの死体なんだ。  
え？  
フルフル 今、俺たちが食わされたのは、俺たちの体液なんだよ！  
蠅 そりゃ悪かったよ。何かお詫びをさせてくれないか。  
メタン 今すぐ目の前から立ち去れ！  
フルフル 空とか飛んでみない？  
メタン 無理！  
フルフル 空？

フルフル、蠅の近くによる。

メタン え？ ちょっと正気なの？  
蠅 そう、興味ないの？ 外の世界に？  
フルフル ある！  
蠅 よっしゃ、行こう  
メタン え？ ちょっと、  
フルフル あのさ、ここは何の死体か知ってるのか？  
蠅 ニンゲンの死体の上。  
フルフル ニンゲンの死体なんだ？ じゃあ、この人間ってクソして死んだのかな？  
蠅 空から覗いて検証して見てみる？  
フルフル そうだな、さあ、乗っけるクソ野郎。  
蠅 蠅使い荒いよね。君、

フルフル、蠅の背中に乗り、退場。

## シーン5

笛吹と葦山の卒業から5年後の世界。

小説を書く葦山とその後ろにまさるがいる。

スマホから着信音が鳴り響いているが、葦山は電話に出ようとはしない。

まさる

（電話に出て）はい、もしもし……。おたくねえ、何度かければ気が済むのかな？ 今、この天才作家葦山太郎様は執筆の最中なの今後、二度と、絶対に、かけて来ないでくれ！

着信音がフェードインする。

葦山

（原稿を書きながら）架空の人物が電話に出れないだろ。何やってんだ。

まさる

だって、暇なんだもん。

葦山

そうか。

まさる

書きかけにされるこっちの身にもなってよね。

着信音が鳴り止む。

葦山

次はお前が主人公の作品を書く。

まさる

ホントか！？

葦山

今書いてる小説で新人賞を取ったらな。

まさる

そんな自信あるわけ？

葦山

ある。多くの読者がこの小説に共感することになるだろう。

まさる

—でも処女作が肝心なんだよ。物語の序盤でも掴みって大事だろ。デビュー

葦山

お楽しみはとっとけって言うだろ。

まさる

言ってる意味わかんねえよ。第一、今書いてるヤツはそんなに面白いわけ？

葦山

面白いに決まってるだろ。

まさる

それになんだつけそのタイトル？

葦山

「チョモランマみたいな尻」

まさる

「チョモランマみたいな尻」？

葦山

「チョモランマみたいな尻」

まさる

パクリじゃねえか！

葦山

え？

まさる

定禅寺兼安の「ケツからチョモランマ」のパクリじゃねえかよ。

葦山

そういうのはオマージュって言うの。

まさる

オマージュ？

葦山

そう、先生の作品をモチーフにオマージュしたんだ。

まさる

訴えられたら勝てんだろ。

葦山

先生がそんなことするわけないだろ。昔の俺を孤独から救ってくれたヒーローなんだ。

まさる

関係無いから、もっとオリジナルで勝負しろよな。

葦山

だって、しようがないだろ、もう似ちやっただからさあ。

まさる

まあ、それで原稿300枚書き進めちやったら後にひけないよね。

葦山

もう〜！ うるさいなあ。どっか行けよ！

まさる

はいはい。

葦山

200万もやらねえからな！

まさる

そんな大金どこから出て来んだよ？

葦山

新人賞の副賞。

まさる

あっそ。

葦山

賞取って勝てばいいんだよ！ 勝てば！ 200万採ったらな！ 毎日吉原

まさる

のソープに通うんだ！ そして毎日違う女を抱いて、

まさる

いいから黙って書け！



## シーン6

笛吹と矢本がいる。

矢本　いいから黙って書け！  
笛吹　はい。

矢本　プロットはあるんでしょう？　なら全部書けるよね？

笛吹　プロットは1から20まで番号付きで始めから最後まであります。でも、どう展開が繋がっているか自分でも理解出来てないから、悩まなきゃいけないんです。

矢本　いいから、手え動かせ。  
笛吹　はい。

矢本　新人賞の応募締切まで時間無いよ。どうするの？　こんな煮詰まってさ、愛子ちゃん、なに？

笛吹　こうなったら、一緒に考えて、小説のアイデアはあ！？

矢本　やっぱり、僕一人じゃコレ完成させるの無理だよ。いや、できるけど、時間が無い。

矢本　でも、この小説にはちゃんと笛吹君の中で表現したいことがあって書いているんでしょ？

笛吹　うん。  
矢本　なのに、私がネタ出しするのは矛盾してるよ。

笛吹　そうだけど、それに笛吹君の作品が面白くなかったら私の責任にもなるわけじゃん。いやいや、無理だよ。  
矢本　アイディア出すだけだって、書くのは僕だから、それは問題ないよ。

矢本　でも、私、ド素人だよ。

笛吹　いいから、絶対無理！

矢本　じゃあさ、この小説書いたら愛子ちゃんの好きな事しよう。何でも言ってくれよ。カモンベイベ！

笛吹　じゃあ、笛吹君のお金で旅行ね。  
矢本　どこどこ？　鬼怒川温泉とか？

矢本　沖繩。  
笛吹　……カモンベイベ！

矢本　おっけー。アイディアなら無限に出せるよ。  
笛吹　お願いします！

矢本　よしっまず、この小説のいいところから探そうか。

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

矢本

笛吹

……。

そこ黙るなよ。

急に聞かれても……。

なんでもいいんだよ！

うん。

「チョモランマみたいな桃」っていかしたタイトルじゃん。

やっぱりそう思う？

うん、最高じゃん。なんか聞いたこと

あるけど。

やったー。

とにかく、この小説のいいところを探してってそこを伸ばすところから始めていこ

う。

うん。

今日から私がアドバイザーね。頼むよ、未来の売れっ子小説家さん。

はい。

## シーン7

葦山とまさるがいる。

葦山はスマホで通話中。

まさるはそれを見守っている。

葦山 ええ、ええ。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします……。  
はい、では、失礼します。

葦山、通話を切ると床に倒れる。

葦山 ……。

まさる 落選したな、新人賞。

葦山 ……。

まさる だからな、処女作が重要だって言ったんだ。俺を先に書いてればな、

葦山 ちくしよう！

まさる まあ、落ち着けよ。

葦山 うっせえハゲ！

まさる 地道に頑張れよ。

葦山 俺にはコレしかなかったんだよ！

まさる 分かるがな、結果を真摯に受け止める。

葦山 賞が欲しい！

まさる ……。

葦山 賞が欲しいよん！！

電話の着信音が鳴る。すかさずスマホを見る葦山。

葦山 ……笛吹かよ。

葦山、電話を切る。

まさる そろそろ出てやったらいいじゃん。同級生だろ？

葦山 決めてんだよ。こいつの着信に出る時は、俺が出世した時だって。

まさる だったら早く売れてやれよな。

葦山 言われなくても分かってるよん……！ ああ、もう、タイトルまで間違えやが  
つて！ 「チヨモランマみたいな桃」って、そんな品の無いタイトルじゃねえ  
よ！ ちくしよう。

まさる パクリじゃ間違われて当然だよな。

葦山 風俗に行く！  
まさる えっ、またあ。  
葦山 いいから行くぞ！

葦山、まさる、退場。  
入れ替わる形で笛吹と矢本、登場。  
笛吹はスマホで通話中。  
矢本はそれを見守っている。

笛吹 ええ、ええ。ありがとうございました。今後ともよろしく願いしま  
す……。はい、では、失礼します。

矢本 ……。  
笛吹 ……やったよ。新人賞受賞だあ！

矢本 え、え、マジで？  
笛吹 マジでマジで。

矢本 えっホントに？  
2人 やったあ！

矢本 頑張った甲斐があったね。  
全部愛子ちゃんのおかげだよお。

矢本 そんなそんな笛吹君の才能のおかげだって。  
笛吹 ところで、副賞200万だって、

矢本 えー！  
笛吹 どうする？ パアツと使っちゃう？

矢本 いやいや、そこは自分の仕事道具とかに投資しようよ。なんか質の高い机とか  
いい感じの椅子とか買いなよ。

笛吹 じゃあ、それに100万使って、残りの100万で旅行しようよ！  
矢本 行こう！ 沖繩旅行！

笛吹 いや、国内ならいつでも行けるでしょ。ここは贅沢にガム旅行だ！  
矢本 やったー。笛吹くん大好きいー。じゃあ、ガイドブック買いに行こう！  
笛吹 いいね！ あっ、ちよっと待って。

笛吹、自分のスマホを取り電話をかける。

笛吹 ……。  
矢本 またあの人？

笛吹 ごめんね。さあ、行こうか。本屋さんへ！  
矢本 うんっ、……。笛吹君、ガムに着いたら、最初どこに観光に行きたい？

笛吹 ぬ、ぬ、ヌーティストビーチ……。君と。  
矢本 やだなー、もう。……。ガムにあるの？ ヌーティストビーチ。  
笛吹 わかんない。

笛吹、矢本笑いながら退場。  
入れ替わる形で葦山、まさる登場。

葦山　　なんで「チョモランマみたいな尻」が落選して「チョモランマみたいな桃」が  
新人賞受賞してんだよ！　俺のパクリじゃねえかあんなもん！  
まさる　　まあ、どちらも、定禅寺先生の「ケツからチョモランマ」のパクリだけどな、  
葦山　　じゃあ、どうしてこんなにも差がついた？  
まさる　　説明するまでもないが……こちらをご覧ください。

イエスキリストの恰好をした定禅寺先生登場。

「チョモランマみたいな桃」の作者の笛吹もいる。  
ハテナマークが付いてる覆面をしている。

まさる　　これが、葦山が抱いてる定禅寺先生のイメージです。

葦山　　（ひれ伏す）

笛吹　　（ひれ伏す）

定禅寺　　イエス。

まさる　　信仰のあまり、君の作品は似すぎた。それが敗因だ。

定禅寺　　イエス

葦山　　それは認めたくないけど、分かるよ。つてか、コイツ誰！？

笛吹　　「チョモランマみたいな桃」の作者だ。僕も、先生を崇拜しているという点で  
は同じだ。作品も結構似てる。しかし、

笛吹、定禅寺の服を後ろから破く。

葦山　　え！？

定禅寺の尻が桃のようにピンク色になっている。

笛吹　　僕は先生の作品をすっかり模倣しつつオリジナリティを作品の中で出して  
いる。それがお前との決定的違いだ！

葦山　　誰なんだよ！？　お前は！

葦山、笛吹のマスク剥ぐ。

葦山　　笛吹……、お前か……悔しいよん！

葦山、定禅寺に甘える。

定禅寺 ノー。

葦山 えっ？

まさる お前は、この定禅寺先生を尊敬する思いを断ち切らない限り成長できない。

笛吹 つまり、僕を超えられない。

葦山 なんだと。くーっ！

まさる それだけじゃない。お前は定禅寺先生に対する尊敬の念で溢れてる。

複数の定禅寺先生たち登場。全員同じ格好をしている。

まさる この膨れ上がっている、定禅寺先生のイメージを突き破るんだ。この短剣でな。

まさる、葦山に自分の短剣を渡す。

葦山 ……無理だよお。

まさる いいからやるんだ！

葦山、剣を突き刺そうとするが、突き刺せない。

笛吹 貸してみろよ。

笛吹、笑いながら定禅寺を刺しまくる。

笛吹 こうやるんだよ！ ひやははは！

笛吹、退場。

まさる 今日はここら辺にしとこう。

定禅寺たち、退場。

葦山 悔しすぎるよん！！ 俺よりちよつと才能あるぐらいで調子乗りやがって！

くたばれ笛吹！

笛吹、登場。走り込んで来る

笛吹 このヤロー！

葦山 ああ、ごめんなさいー。才能とかじゃなくて、笛吹ちゃんはちゃんと努力しています！

笛吹、退場。

まさる 次回作だけど、もっと明るく書いたら？ 暗すぎるんだよ。お前の作風はさあ、

葦山 うるさい！

まさる 俺が主役の新作書きなよ。明るいじゃん、俺のキャラ。

葦山 お前じゃ賞は取れないから。

まさる 何を根拠に……。

葦山 この恨み晴らすずしておくべきか。この恨み晴らすずしておくべきか……。い  
ざ、風俗へ！

葦山、退場。

まさる ハマってしまったな。

まさる、退場。

## シーン8

ピンサロ店。

葦山とまさるが個室のソファ―に腰をかけている。

ボーイ、登場。

ボーイ 今から来る子なんすけど、新人なんでやさしくしてあげてください。

葦山 あ、はい。

ボーイ、退場。

まさる ちっ新人かよ。ついてねえな。こっちは金払ってんだぞ。

葦山 まあまあ。

蛇田、登場。

蛇田 こんばんわー。

蛇田、葦山の顔を見て俯く。

蛇田 しのぶって言います。よろしくお願いします。

葦山 ……若いね。

蛇田 ありがとうございます。

葦山 年上も多いから。この店。

蛇田 そうなんだー。

蛇田 仕事帰りですか？

葦山 まあ、

蛇田 お仕事は何を？

葦山 小説家。

蛇田 へー凄いですね。

葦山 まあ、

間

葦山 かわいいね。

蛇田 かわいくない。

葦山 かわいいよ。

蛇田 かわいくないから。

葦山 かわいい。



蛇田 ……膝の上に乗っていい？  
葦山 いいよ。

葦山の膝の上にいる蛇田。  
葦山、蛇田服の下から胸を触ろうとする。

蛇田 くすぐりたい。もうちょっと後にして。  
葦山 おん。  
まさる 空気読め、コイツ。

間

蛇田 怒ってない？  
葦山 怒ってないよ。  
蛇田 やさしいんですね。  
葦山 え？  
蛇田 サービスしろってすぐ怒られるんだ。  
葦山 ……。  
まさる かわいいとこあるじゃん。  
蛇田 ちよつと噛んでもいい？  
葦山 え？ いいよ。好きなだけ。

蛇田、葦山の腕に噛みつく。

葦山 ああ！  
蛇田 大丈夫ですか？  
葦山 いいや、続けてくれ。

蛇田、葦山の腕に噛みつく。

葦山 ああ！  
まさる 葦山のインスピレーションが渦巻いている！  
葦山 作者は現実世界で経験した事を糧に作品を書いているんだ。この現実を起こる身の回りの体験はなんでも俺の栄養になり、作品という芽を育てる。そしていつか花を咲かせる……。これで次回作が書けるぞおおお！！！！

## シーン9

死体を眺めてるフルフル、蠅、メタンがいる。

フルフル 醜いな。

蠅 え？

フルフル あれが、ニンゲンの死体か。

メタン (口に手を押さえて) おえっ

蠅 どうかしたの？

メタン ちよつと気持ち悪くて

メタン、退場。

蠅 自分の生まれ故郷なのに。

フルフル 今はそつとしておきましょう。

蠅 私も死体に産み付けられた卵から生まれてきたんだけどな。

フルフル え？

蠅 だから、君らと同郷なんだ。

フルフル え、卵。

蠅 そう。

フルフル え、卵？

蠅 そこそんな気になるかな。

フルフル 分裂しないんですか。

蠅 分裂ってなに？

メタン あん♡(エコー)

メタンと生まれたてのメタン2、登場。

蠅 えええええええ

メタン ごめん、そこで分裂しちゃった。

フルフル さっき、おえって、予兆が来てたもんね。

蠅 あれ予兆だったんだ。

フルフル 氣い使わなくていいのに。逆に傷つくわ。

メタン ごめん。

蠅 (生まれたてメタンに) この子から生まれて来たの？

メタン2 うん。

蠅 瓜二つ。胸のサイズまで……生命の神秘や。

メタン2 じゃあね、私。残さず死体を腐らせよう。

メタン アディオス

メタン2、退場。

フルフル　メタンちゃんたちは、ああやって生まれて来るんだ。

蠅　じゃあ、君も分裂するのか。

フルフル　しねえよ！

蠅　何で急にキレるの？

メタン　フルフルは今、謎の原因で分裂できない細菌なんだよ。

蠅　え？　分裂できないなら私も一緒だよ。

メタン　え、

フルフル　なんか、卵って奴から生まれて来るらしいよ。

メタン　たまご？

アクネス、ポツリナム、登場。

アクネス　死体から急にウジが湧いたりしない。「どこから」かやって来たハエの卵を「介して」ウジは湧いて出て来る。

アクネス、ポツリナム、退場。

メタン　そういやアクネスが言ってたヤツか。

フルフル　その卵って何なの？

蠅　ええっと、何て言えばいいのかな……。白くて硬くて丸いヤツ。

メタン　白くて硬くて丸いヤツ？

フルフル　ええっと、(手で形を作って)大きさはこんな。

蠅　え？　それが(蠅の手をマネして)蠅さんになるの。

フルフル　そうそう。

メタン　いやいや、そんなバカな。

フルフル　姿形が違うじゃない。

蠅　時間をかけて成虫になるのよ。

フルフル　時間かかるの？

メタン　不便だなあ。

フルフル　で、卵はどこから運んで来るんですか。

蠅　え？　そんなんじゃないよ。

フルフル　じゃあ、どうやって？

蠅　雄と雌が交尾して

フルフル　交尾って何ですか。

蠅　キリがないわね。気合で分かりなさいよ。

メタン　だってねえ、

フルフル　つまり、雄と雌っていう、二つの個体が必要ってことか。

蠅 まあ、そういうことね。

フルフル 交尾は、何の前触れもなく、突然起こるんですか？

蠅 う〜ん、好きとか嫌いとか紆余曲折あって、

フルフル (考え込んでる)

蠅 大事なのは相手を愛する気持ちよ。

フルフル 愛？

蠅 もう。

フルフル 何かすみません。

蠅 まあ、生まれ方は生物それぞれだし、別に分裂できなくても生きて行けるよ。

フルフル それでいいんじゃない？

フルフル ……。

メタン フルフルは分裂できなきゃダメなの！

蠅 え？

メタン じゃないと、仲間外れのまんまなんだよ。フルフルの孤独が理解できる？

蠅 いやあ、

メタン 帰らせる！ (フルフルに) そんな理由に甘えちゃ駄目だ。帰るよ！

フルフル ……メタンちゃん、僕は納得がしたいんだ。

メタン え？

フルフル 納得出来ないで僕の孤独は埋まらない。

ボロボロのメタン2、登場。

メタン2 逃げて！ なんかやばい奴がいる、逃げて！

覆面を被り武器を持ったポツリナム、登場。

メタン2、退場。

ポツリナム 覚悟！

ポツリナム、フルフルに武器を奪われ呆気なく死亡。

フルフル、ポツリナムの覆面を剥がす。

フルフル ……ポツリナム。

ポツリナム 私がここで死のうとも第2第3のポツリナムが現れるであろう(息絶える)

フルフル アクネスの指示か。

メタン ニンゲンの死体にはもう戻れないかも。

フルフル ……蠅さん。

蠅 なに？

フルフル 腐敗が進むと、あのニンゲンの死体はどうなるの。

蠅 やがて土に還るよ。

フルフル 　いつか消えて無くなるってこと。  
蠅　　そう。  
フルフル　　僕ら細菌の存在は？  
蠅　　さあ、  
フルフル　　……。

## シーン10

笛吹の自宅。  
執筆に悩んでいる笛吹と矢本がいる。

笛吹　　ダメだ。もう書けない。  
矢本　　……。  
笛吹　　続きが浮かばない。  
矢本　　……。  
笛吹　　また締め切りに間に合わないよ。  
矢本　　……私も書く。  
笛吹　　愛子ちゃん、  
矢本　　だってさ、全部笛吹君が書く必要ないじゃん。何千枚も書くんだから、  
笛吹　　……いやいやいや、何を考えてるんだ。僕は、そんなのダメに決まってるじゃないか。  
矢本　　途中からならバレない  
笛吹　　自分の一人の力でやり切らないと。僕の作品と言えないよ。  
矢本　　笛吹君は売れて来た。  
笛吹　　……。  
矢本　　私はあなたの才能をここで終わらせたくないの。  
笛吹　　……。  
矢本　　さあ、プロットを見せて。  
笛吹　　……。

笛吹、手元のネタ帳を矢本に渡す。

## シーン11

スマホオを持った葦山、登場。

葦山 今後の活躍にご期待します、だと……？ 同情するなら賞よこせ！

スマホオの通話を切る葦山。

まさる 何回目だよ。

葦山 数え切れねえよ。

まさる 笛吹から電話も来なくなつたね。

葦山 どうせ仕事で忙しくて余裕無いんだろ。

まさる 忘れられてんじゃない。

葦山 いいよ、別に。

リモコンを持ち、テレビの電源をつける葦山。

テレビ番組が始まる。

滝川と、八王子駅前の本屋に並ぶ笛吹狂たち、登場。

滝川 私は、今、東京都八王子市にある本屋さんに来ています。ご覧下さい。奇跡の

天才作家、笛吹恭平氏の新作小説を買い求める人たちの長蛇の列です。

本屋の店員、登場。

店員 すみませうん！ 笛吹恭平の新作小説、完売してしまいました……。

阿鼻叫喚の笛吹狂たち。

すると、書店から最後の一冊が買った人が登場。

笛吹狂たち、最後の人から本を奪おうとする。

笛吹狂たち、本を買った人を追いかけるように退場。

滝川 以上、現場よりお送りしました。

葦山、テレビの電源を切る。

葦山 キュウニバカウレ……。

まさる 葦山？

葦山 リカイフノウ、リカイフノウ。

葦山、その場に力尽きる。

まさる　　しっかりとしろ葦山！

葦山　　モウカケナイ、

まさる　　こうして葦山は力尽きてしまいました。それから4年の月日が流れた。

## シーン12

4年後の葦山宅

葦山は雑誌の記事を執筆。

まさると定禅寺はテレビを見る。

テレビ画面に滝川グリシテル登場。

滝川

おはようございます。本日よりあさめしテレビの木曜日を担当することになった。滝川グリシテルです。まだまだ未熟者ではありますが、精一杯番組を支えていきたいと思うので、よろしくお願いします。さて、木曜日のおススメは、今注目のあの超人気作家のグッズです。今年文学界初の直木賞、芥川賞の同時受賞された「ケツと薔薇」の作者笛吹恭平さんのキャラクターグッズです。今や映画化、漫画化など多岐に渡るタイアップ話が題を呼んでいる「ケツに薔薇」ですが、笛吹恭平さんのカリスマ的な人気があり、グッズ化が相次いでるんですね。今回、その数あるグッズの中で注目したいのが……、  
(台詞の途中で)俺、この人見たことあるんだけど……、

葦山

……。

まさる　　定禅寺先生は？

定禅寺　　イエス。

まさる　　やっぱりあるよね……あるぞ、やっぱり。

葦山　　うるさい。

まさる　　見てみるって。

葦山　　(テレビ画面を見る) ないよ。誰だよコイツ。

沈黙。

まさる　　あのさ、いつまで書いてるのそれ？

葦山　　あ？

まさる　　雑誌の広告記事なんて書いて楽しいの？

葦山　　これは生活のためだから、

まさる　　それは本当に葦山がやりたい仕事なのか。

葦山　　……。

まさる そんなクソつまらねえ雑誌の記事書いてないでさ、自分の小説書きなよ。  
葦山 あゝ、

葦山、テレビを消す。滝川、退場。  
葦山、自分の部屋の外に出る。

まさる どこに行くんだよ。

葦山 気分転換。

まさる 待てよ。まだ話は終わってないぜ。

葦山 うるさい。

まさる 定禅寺先生を見てみる。

定禅寺 イエス

まさる 昔は神々しかったけど、随分みずぼらしくなっちゃったね。

定禅寺 イエス。

まさる このまま消滅するんじゃないか。

定禅寺 イエス。

葦山 いいよ、その方が

まさる 何てこと言うんだ！

葦山 その方がオリジナリティのある作品が書けるんだろ。

まさる そうだけど、そういう問題じゃなくて、今のお前には、自分と向き合って欲し

いんだよ。

定禅寺 まあ、イエス。

まさる もっとお前は自分の作品を書きたいと思っているし、笛吹よりもよっぽど自

分の方に才能があると思っっているのにこのままでいいのか？

葦山 ……才能無いヤツは何をやってもダメなんだよ。

まさる だからって、広告の仕事に逃げていいのか？

滝川、登場。

葦山 うるさい！

定禅寺 (滝川を見つけて) シヤアラップ！

葦山 うるさい！ うるさい！

定禅寺 ラップ……アップ……！

滝川 誰と喋ってるの？

まさる、定禅寺、退場。

滝川 ……葦山さん。

葦山 え。

滝川 変よ。



蕪山　どなたですか。  
滝川　相変わらず変。  
蕪山　(思い出そうとして) ……すみません。  
滝川　私よ。照子よ。  
蕪山　え、照子ちゃん？

青年滝川、登場。

青年滝川　蕪山さん！  
蕪山　照子ちゃん！ (滝川の方を見て) ……照子ちゃん。  
滝川　まあ、分からないのも無理はないよね。高校卒業後、本気でアナウンサー目指して減量したものだ。  
蕪山　……激痩せた。  
滝川　そういえば同窓会の連絡行ってる？  
蕪山　……うん。  
滝川　たまには顔出しなさいよ。  
蕪山　返信しないで、いつも放置しちゃうんだよね。  
滝川　やっぱり忙しいんだ。  
蕪山　まあ、  
滝川　蕪山さんは、今何やってるの？  
蕪山　……？　書く仕事をしてるんだ。  
滝川　まだ小説家目指してるんだ！  
蕪山　まあ、うん……。

間

蕪山　ごめん、用事が押してるんだった。  
滝川　あら、ごめんなさい。  
蕪山　またね。

蕪山、その場から退場。

滝川　また……。

## シーン13

まさる、登場。

まさる もつと堂々とできないのかよ？

葦山 だって、

まさる 小説家やってるって胸張れよ。

葦山 今の俺じゃ、とても言えないよ、そんなこと。

まさる ……なあ、今日何の日か忘れてないか？

葦山 なんだよ。

まさる いいから、テレビ見る。テレビ！

葦山 え？

葦山、スマフォの画面を眺める。

滝川 そんな笛吹さんに本日は、もう一人スペシャルゲストが来ていますよ。

笛吹 どなたですか。

滝川 もう一人いらつしやいますよね。笛吹さんの人生に影響を与えた方が。

笛吹 ま、まさか！

滝川 もう一人はの方です。どうぞ。

定禅寺、自転車に乗って登場。

彼には神の後光が差している。

笛吹 (感動し過ぎておしっこ漏れそう。)

定禅寺、持つてるBIGカツで笛吹を引っぱたく。

2人 勝利のカツ！

笛吹 すっげえ！ 本物だああ！

滝川 ノーベル文学賞受賞者、定禅寺兼安さんです。

笛吹 お会い出来て光栄です。あなたと仕事をすることが、ずっと僕の目標でした。

葦山 今まで頑張ってきたのも全て先生のおかげです。

葦山 いいなあ……。

葦山、レミゼラブルの「夢やぶれて」を歌い始める。  
ミュージカルシーン。

途中で歌い手が笛吹に横取りされる。

「夢やぶれて」終了後、笛吹、滝川、定禅寺、退場。

ワンセグの液晶画面を突き抜けて、少年葦山が葦山に話しかけて来る。

少年葦山 おいっ俺。

葦山 うわっ

少年葦山 生きてんのか、俺！

葦山 ……。

少年葦山 死んでんのか、俺！

葦山 ……。

少年葦山 元気ですかー！

葦山 ……。

少年葦山 あそこにいじめられてるヤツがいるぞ。助けなくていいのか？

葦山 え？

少年葦山 どうして僕ばかりカツアゲするんだ。

不良2 だって、お前母ちゃんいないだろ。

少年葦山 あいつ友達じゃないのか？

葦山 そうだけど、あの時はまだ友達じゃなかったし……、

少年葦山 いいから、コレ持って行って来い！

少年葦山、葦山に鉄パイプを持たせて、ワンセグの液晶画面の中に  
放り込む。

不良1 はいっ、処刑開始ー。

少年葦山 うわああああ！

葦山 まてえ！

不良2 キチガイ葦山！

不良1 キチガイ葦山なんでこんなところに

葦山 ……。

少年葦山 あっごめん。これ持ちながら読んで。

少年葦山、葦山に台本を渡す。

葦山 その彼を放すんだあ。

不良3 分かった。今放すから。その鉄パイプも降ろそうか？

葦山 放さないなら全員鉄パイプ制裁だ。

不良1 いや、ちよっと待て。

少年葦山、鉄パイプで不良全員を撃退する。

不良1 ちくしょう！ 訴えてやるからな！

不良たち、退場。

葦山 (手を差し出す。)

少年笛吹 ありがとう。

葦山 うん。

少年笛吹 どうして僕を助けてくれたの。

葦山 俺も母ちゃんいないから、

少年笛吹 ……あ、

葦山 俺、おかしいか？

少年笛吹 えっ？

葦山 いつもみんなそんな目で俺を見る。

少年笛吹 そんなことないよ。僕だってクラスで浮いてるし。

葦山 ……。

少年笛吹 お前、孤独か？

葦山 え？

少年笛吹 自分は孤独だと感じたことはあるか？

葦山 今もずっとだよ。

少年笛吹 じゃあ、俺たち友達だ。

葦山 ……そうだね。

少年笛吹 孤独は仲間。孤独は友達。

葦山 ありがとう。

少年葦山、拍手しながら登場。

少年笛吹 次はあっちだ。

青年笛吹、登場。

青年笛吹 なんだよ。急に呼び出したりして。

葦山 今後離れ離れになるわけじゃん。俺ら。

青年笛吹 ああ。

葦山 だから、お前の決意を確認したくてさ、

青年笛吹 なるよ。定禅寺先生みたいな小説家に。

葦山 お、おう。絶対だぞ。

青年笛吹 らしくないな、どうしたんだよ急に。

葦山 お前は絶対大丈夫だと思う。国立大学に入ったし、才能あるし、頭いいし、将来有望だと思う。ただ、今後俺自身が自分の夢から折れないようにな。

青年笛吹 一緒に売れる小説家になるんだろ？

葦山 そうだけど、

青年笛吹 ああな……、学歴なんてただの肩書に過ぎないよ。本当に必要なのは才能だ。僕は自分に才能が無いと思ってる。

葦山 そんなこと言うなよ。

青年笛吹 本当に才能あるのは、お前だ。葦山。

葦山 え？

青年笛吹 お前の作品は面白い。とても共感できる。そういうセンス、僕に無いからさ。

葦山 ……速まわしにいつもお前は俺のこと見下し来るよな。

青年笛吹 本心だぜ。今のは、

葦山 いいや、無意識にお前は他人のことを見下す癖があるんだ。

青年滝川、登場。

青年滝川 葦山さくん。

青年笛吹 誰この子？

葦山 ……。

青年滝川 うちのダーリンがどうしたんですか？

青年笛吹 いや、自分に才能が無いって喚くんです。

青年滝川 またメンヘラ拗らせてるんですね。

青年笛吹 メンヘラかどうかは知らないけど。

青年滝川 おら！ しつかりしろよ！ 約束守れよ！ チンコ付いてるんだろ！（おうふくビンタ）

葦山 う、う、売れるよー！

ビンタが止まる。

葦山 売りたい。

青年笛吹 売りたいなあ。

葦山 定禅寺先生みたいな小説家になりたい。

青年笛吹 だせえな、俺ら。

葦山 そうだな。

青年笛吹 とにかく頑張ろうぜ、俺たち。

葦山 ああ、

青年笛吹 絶対負けないからな。

葦山 お前こそ諦めるなよ。

青年笛吹 お前、産みの苦しみから逃げたらマジで吹っ飛ばすからな。

青年笛吹、退場。

青年葦山、登場。コスプレカバディ部をサボっている模様。

青年蕪山 よお。  
青年蕪山 ……。  
蕪山 また部活サボってんのか。  
青年蕪山 なんか、もう体動かすのがめんどくさくてさ、  
蕪山 それで大丈夫なのか？  
青年蕪山 大丈夫、大丈夫。

蕪山、持つてる台本をビリビリに破る。

蕪山 ともかくだ、蕪山。25歳の俺から言わせてもらおうと、お前がそうやって逃げ  
てると、9年後に必ず挫折する。

青年蕪山 え？

蕪山 人の気持ちが分からないと、いい作品は書けないんだ。俺はお前の時に人と付  
き合う努力を怠った。だから、俺は毎日クソつまらない雑誌の広告なんて仕事  
をやっている。こんな人の心に響かない文章ばかり書くのは、本当に俺のやり  
たいことではない。でも、人の気持ち分からないから、この仕事に甘んじて  
いる。こんな人生のままでもいいのか？ 俺？

35歳の蕪山登場。

蕪山 35歳 いいや、人の夢は終わらないんだ。蕪山！

蕪山 誰だお前は？

蕪山 35歳 35歳のお前だ。

蕪山 マジか。

蕪山 35歳 お前は、諦めずにまた自分の作品を書きはじめる。そして新人賞を受賞する！

蕪山 ……。

蕪山 35歳 ……小さい出版社の賞だけだな。

蕪山 小さくても結構！

蕪山 35歳 そして、出版の機会に恵まれ大ヒットまではないが、その作品はそこそこ売れ  
る。そして30歳の時、お前は結婚する。

蕪山 この俺が？

蕪山 35歳 そうだ。しかも、照子ちゃんなんかより美人だぞ。

青年蕪山 なんだと！？

蕪山 やればできるじゃんか。俺、

蕪山 35歳 だから、夢は諦めずに頑張るんだ！ 25歳の俺！

50歳の蕪山登場。

蕪山 50歳 果たしてその結婚が幸せだと言えるのか？

蕪山 35歳 誰だ。お前は？

葦山 50歳 お前だ。40歳の時、俺の妻に諭されて俺は小説家を辞める。  
葦山たち え！？

葦山 35歳 せっかくまた書き始めたのに。

葦山 50歳 そして不動産業を始める。生計を立てるためにな！

葦山 今すぐその女と別れちまえ！

葦山 35歳 何言ってるんだてめえ！ せっかくできた彼女だぞ！ 誰が別れるか。

葦山 50歳 趣味でも続けることは可能なんだよ。小説家なんて。

葦山たち え？

葦山 50歳 小説家が評価されようと思っちゃいけないんだ。今は、私の数少ない知り合いにだけ配っている。自分の周りだけでも喜んでもらえればいいじゃないか。売れなくだっついていいじゃないか。

#### 65歳の葦山登場。

葦山 65歳 そう思ったのが人生最大の誤算じゃった。

葦山 50歳 ……。

少年葦山 今度は何歳？

葦山 65歳 65歳のお前だ。10年後、お前は癌になる

葦山 えっ死ぬの？

葦山 65歳 いや、それは……。 (自分が登場した方向をチラチラ見る)

葦山 65歳の遺影を持った「？」マスクの男、登場。

狼狽える葦山たち。

「？」マスクの男、遺影の裏面を葦山たちに見せる。

「なんちやって」の文字。

安堵する葦山たち。

すると、「？」マスクの男、墓石を運んでくる。

葦山のお墓でした。

葦山 65歳 やっぱ死ぬ……。不動産の会社は潰れ、ついでに妻とも離婚。しょうがなくタクシーの運転手になって、働けない体のまま死ぬんだ……。

少年葦山以外の葦山たち泣く。

少年葦山 ……かわいそー。

青年葦山 何で結婚なんてしちゃったんだよ。

葦山 35歳 しょうがないだろ孕ませちゃったんだから。

少年葦山 クズかよー。

葦山 35歳 うるさい！

葦山 65歳 それでも、小説家の夢は諦めなくてよかったじゃろが！

葦山 50歳 それこそ面白い草だ。元々爆発的な才能なんて持ってないんだからさ。  
葦山 35歳 なんだとコノヤロー！  
葦山 50歳 妻がそう言ってるんだぞ！  
葦山 ……なんか、最後までばつとしない人生だね。

沈黙

葦山 ……でも、たぶん、ここの代で（50歳を指して）諦めちゃったのがいけないと思うんだ。

葦山 65歳 そうじゃ！ そうすればもう少しマシな人生謳歌できたよ。

葦山 50歳 ……俺だって、本当はそう思ってるさ。

葦山 ……最後に勝てばいいんだよ。勝てば！ ここまで来たらもはや意地だ。勝つまで続けてやるよ。

青年葦山 ……今度は何を書くの？

葦山 ……お前が主人公の作品だ。まさる。

まさる ……まさるは青年時代の葦山だったのだ。

まさる ……待ってたぞ！ 葦山！

そして65歳の葦山は、付け髭を外すと定禪寺先生だった。

定禪寺 ……（付け髭を外して）イエスウィーキャン！

まさる ……で、どうするの？ ……どこの出版社に応募する？

葦山 ……賞はもういい！

まさる ……おお、

葦山 ……こうなったら、自費出版でもしてやるよ。

笛吹登場。

まさるたち、退場。

葦山 ……いいんだよ。こんな惨めな生き方のままでも、だけど、お前と比べられと、自分が醜く感じて我慢ができなくなる……。お前がいるから腐るんだ。俺は、

葦山、持つてる鉄パイプで、笛吹を殴ろうとする。  
殴りかけたところで暗転。



## シーン14

分裂体操をやっているフルフルとそれを手助けしているメタンがいる。  
相変わらずフルフルの股は裂けず分裂も出来ない。

メタン　　なんでできないの!?

武器を持ったポツリナム、登場。

ポツリナム　覚悟お!

フルフル、股を開くポーズを止めて、めんどくさい感じでポツリナムから竹刀を奪い殺す。

ポツリナム　グワああああ!　このポツリナムを倒したぐらいで凶に乗るなよ……。

別空間になる。

アクネス、登場。

ポツリナム　ポツリナムがやられました。

アクネス　奴は数兆いるポツリナムの中で最弱。次のポツリナムを送り込め。

ポツリナム　はっ

ポツリナム、退場。

アクネス、ポツリナム、登場。

ポツリナム　斥候のポツリナムから入電です。奴は蠅と接触しているようです。

アクネス　多細胞生物と何故……?

アクネス、ポツリナム、退場。

フルフル　分裂しても仕方ないだろ。

メタン　　だけど、分裂しないと、

ポツリナムが顔だけ出してフルフルたちの様子を伺っている。

メタン　　あいつらに殺されるかもしれないんだよ!

フルフル　メタンちゃんはやっぱりアクネスやポツリナムたちと同じ側なんだね。

メタン　　同じ側って何よ。

フルフル 分裂できる側。

メタン はあ？ 私はあなたの味方よ。

フルフル メタンちゃんはさあ、あのニンゲンの死体を見て何とも思わなかったの？  
メタン 別に。

フルフル 分裂すればすれほど腐敗が進んでいく。

メタン そうね、当たり前じゃない。

フルフル 僕らの住む場所が無くなってしまっただ。分裂も腐敗も不毛なんだ！

メタン でも、フルフルのことを思って言うてるの。私は。

フルフル なあ、腐敗のどこが行けないって言うんだ。

フルフル 教えてくれたのは君だろ！

フルフル ……君は発酵という言葉を知ってる？

フルフル 発酵？

フルフル 私は、死体に産み付けられて生まれた蠅だけど、チーズってのに産み付けら

れて生まれる蠅ってのもいるのね。で、そのチーズってのは、人間たちに喜  
んで食われてるんだよね。腐ってるのに。

フルフル ……。

フルフル つまり、何が言いたいかって言うと、時に腐敗も役に立つということ、そう

フルフル という現象を発酵って言うんだ。腐ることが全部悪いわけじゃないんだ。

フルフル こんな話気休めだ。

フルフル もう知らない。

フルフル 待てよ。

メタン、蠅、退場。

フルフル 腐敗も発酵も同じ……。

武器を持ったポツリナム、登場。

ポツリナム 覚悟お！

ポツリナム、以下略。その場に崩れ落ちる。

ポツリナム ウイルスめ。

フルフル ……おいっ！ ウイルスって何だ。

ポツリナム うう。

フルフル 僕の正体を知ってるのか。教えてくれ！

ポツリナム お前の正体は……、なんだっけ。

ポツリナム、死亡。

フルフル　おい！　なんだよそれ！　おい、死ぬなー！！

## シーン15

時間軸は一気にテレビ番組収録後に移る。  
笛吹と滝川が出会う。

笛吹　まさかこんなところで再会できるなんてね。

滝川　ええ、

笛吹　どんなダイエットしたんだい。

滝川　ナ・イ・シヨ。

2人笑う。

滝川、退場。

場所は笛吹邸付近に移る。

帰宅中の笛吹をストーカーする蛇田、登場。

蛇田　（時計を見て）午前1時22分……よしっいつも通りだ。

笛吹　……。

蛇田　（メモしながら）やはり23時55分六本木発の日比谷線に乗っていると。

笛吹の目の前に蛇田、登場。

蛇田　……あ、あの、

笛吹　……。

蛇田　笛吹神……あ、もとい笛吹恭平さんですよ。

笛吹　人違いじゃないですか。

蛇田　笛吹神ですよ。いつも尊敬申し上げます。

笛吹　はい。

蛇田　祭壇を作り、そのうえで奉らせていただいております。

笛吹　……。

蛇田　あの、失敬ながら、私、24時間態勢で笛吹神のこと観察させて頂いているのですが、その過程でいくつか疑問点がございます。

笛吹　……。

蛇田　この一か月間の生活時間を円グラフにまとめてみました。このグラフから分析すると、ほとんどの時間。テレビ収録、雑誌インタビュー、睡眠に費やされており、一体いつどこで作品を執筆なされておりますでしょうか。

笛吹　……。

蛇田 一瞬で書くんですか？ 神業ですか？ 神だけに。

笛吹、その場から走り去る。

蛇田 ああ、神々。

帰宅する笛吹。矢本は笛吹の小説の代筆をしている。

笛吹 ただいま。

矢本 ……。

矢本、煮詰まっている様子。

笛吹 お腹空いて無い？

矢本 えっ空いたかな。

笛吹 スタッフさんに頼んで三越のお弁当買ってきたんだよ。一緒に食べない？

矢本 ……食べよ。

笛吹、矢本、買い置きのお弁当を食べにテーブルへ。

矢本 最近仕事どう？

笛吹 えっ

矢本 楽しい？

笛吹 楽しいよ、大変だけど。

矢本 そう、

笛吹 今日バラエティーの仕事したんだけどさ、……とうとう一緒に仕事しちゃったよ。タウンタウンの松本双志。

矢本 えっよかったじゃん。

笛吹 ね？ 凄いでしょ？

矢本 うんっ

笛吹 収録後にね、話したの。まっちゃんと。そしたら僕らの作品読んでくれてたんだよ。ファンだって。

矢本 えー！。

笛吹 でき、頼まれちゃったんだよね。

矢本 ……何を？

笛吹 仕事もらってきちゃった。

矢本 え？ 仕事？

笛吹 ……まっちゃんが……俺の自伝を書いてくれたって。松本双志名義で……。

矢本 えっ

笛吹 ごめん、愛子ちゃんに頼みたい。

矢本　そりゃ、頼まれたらやるよ、でも、なんか違うと思うんだけど。  
矢本　私、笛吹君のためだと思ってやってるんだよ。  
笛吹　うん。

矢本　松本双志のためじゃないんだよ。それにそれってつまり松本双志のゴーストラ  
矢本　イターのゴーストライターってことでしょ？  
笛吹　そうなるね。

矢本　……やるけどさあ、やるけど。松本双志の何を思って、書けばいいの？

笛吹　面白いじゃん。松本双志

矢本　面白く無いよ。

笛吹　いっぱい出てんじゃんバラエティー。

矢本　つまらないよ。松本双志

笛吹　お茶の間で笑ってる人たくさんいるよ。

矢本　映画、つまらないから。

笛吹　海外じゃ評価されてるよ。

矢本　そんなの、才能に恵まれない人の言い訳だよ。

笛吹　……。

矢本　ごめん。

笛吹　……いいよな、愛子ちゃん、才能あるから、

矢本　ごめん。

笛吹　なんのごめんなんだよ！　言ってること贅沢過ぎだよ。芸能人の自伝書く機会

なんてもうそうそうないよ。

矢本　……。

笛吹　……煮詰まってるし、連載4本抱えてるの分かるけどさ……、やるしかないん

だよ。ここまで来たら。

矢本　私は笛吹君の作品が好きなんだよ。

笛吹　……。

矢本　いつ自分の作品書いてくれるの？

笛吹　……。

矢本　本当は承認欲求が満たせれば小説でも漫画でも何でもいいんですよ。

笛吹　……。

矢本　ごめん。

矢本、退場。

自宅から出た矢本。玄関前に蛇田がいる。

蛇田　はっようやく姿を現したなっ！

矢本　（動揺している）。

蛇田　貴様、笛吹神とはどうゆう関係だあ！？

矢本　え、なにもありませんけど。

蛇田　17日前から笛吹神おわす神殿に籠ってから、今の今まで出て来なかったでは

ないか。  
いや、今日来るのが初めてですけど、  
嘘つけ！ 私を騙せると思うな。  
ひい！  
本当は知ってるんだぞ。貴様の正体。

沈黙。

蛇田 ずっと見ていたんだぞ。笛吹神の神殿に籠ってやることと言ったら一つだろ。  
矢本 ……。  
蛇田 私と代われ。  
矢本 え？ 何言ってるんですか。  
蛇田 いいから、私と代わるんだ。  
矢本 代われたら代わりたいわよ。こんな仕事。人の気も知れないで、バラしたいならバラせば？ もうどうにでもして！

矢本、その場から去る。

蛇田 ……ああ、ようやく性奴隷の座をあんな女から奪った。後は笛吹神に入殿の許可を頂ければ……ああ、待ち遠しい。

蛇田、退場。

## シーン16

アクネスがいる。  
ポツリナム、登場。

ポツリナム ポツリナム38784番帰投いたしました。  
アクネス ご苦勞。

ビニール袋を被ったメタン登場。

メタン ……ポツリナム7777番帰投いたしました。  
アクネス ご苦勞。

ポツリナム 報告します。暗殺目標「ウイルス」未だ健在。  
アクネス 忌々しいですね。

ポツリナム アクネス様。ここは、ポツリナム精鋭部隊を編成して一気にウイルス叩き潰しまししょう。

メタン なるほど。それでウイルスの野郎をぶっ潰すわけですね。  
アクネス いいえ、今はその時ではありません。

ポツリナム しかし、時間が。  
アクネス 多くのポツリナムに二次感染を招く可能性があります。それはなるべく避けた  
いところですよ。

メタン しかしウイルスは憎き仇！ ウイルスってなんだっけ？  
ポツリナム 大事なことを忘れるな！

メタン そういえば何だっけかなあって思って。  
ツリナム しようがねえポツリナムだなあ。俺が教えてやるよ。なんだっけ。

メタン ちよつと……、そのウイルスはフルフルが分裂できないことと関係があるんですか。

ポツリナム あ、あ、フルフルは分裂できない細菌なわけじゃないんですよね。  
アクネス ……そう、既にヤツの体内では分裂は繰り返されている。

メタン え？  
ヤツの正体はウイルスに感染した細菌だ。

メタン どういうこと？  
アクネス ウイルスは、ヤツの体内にDNAを送り込んで、体内で分裂を繰り返している。  
……。

アクネス 最後にはヤツの体はウイルスたちに突き破られて、飛び出したウイルスは他の  
細菌たちに感染する。奴の存在は我々にとって有害だ。

メタン そんな……。  
アクネス 秘密裏にヤツを処分すること。それが細菌コロニーの平和のためです。

フルフル、ハエ、登場。

フルフル そんな情報、どこから仕入れて来たの？  
メタン えっと

フルフル 確証は？  
メタン それは……、

蠅 私が教えたのよ。  
メタン 蠅さん。

フルフル ……何で2人とも黙ってたんだよ！  
蠅 ごめんなさい。

間

フルフル あー、最悪だ。最悪な気分だよ。  
メタン フルフル、

フルフル 広い視野で世界を観たいと思ったけど、こんなはずじゃなかった。  
メタン ねえってば。

フルフル 近寄んな！  
メタン でも、

フルフル いつもベタバタくつきやがって、ホントに何がしたいんだよ、  
メタン 私もよくわからないよ！

フルフル お別れだ。  
メタン 嫌だ。

フルフル メタンちゃんにもいつ感染するか分からないんだよ。  
メタン その時はその時だから、

フルフル ダメだ。  
メタン いさせてよ！

フルフル お前が傍にいても僕の孤独は何一つ埋まらないんだよ。居ても居なくても変わ  
らないから！

メタン (ブチッ)

メタン、フルフルの頭に寄生しているファージを取ろうとする。

メタン こんなもの無くなれば！

蠅 辞めなさい！ それを取ったらあなたの体がどうなるか  
メタン いいの！

ファージ、スポンと取れる。

崩れ落ちるフルフル。



蠅 大丈夫？  
メタン ウイルス取れた！ やったあ！  
フルフル ああん♡  
メタン あ！ 分裂の予兆！  
フルフル すごい！

フルフル、退場。

蠅 あれだけに分裂を嫌悪してたのに。  
メタン まあ、みんなと同じようになれるならいいんじゃない？

フルフル、登場。

メタン ……分裂できた？

フルフルの手にはファージが。

蠅 もう手遅れってこと。  
メタン そんな。

槍を持ったポツリナム、登場。

ポツリナム 覚悟！  
フルフル ……来いよ。  
ポツリナム 全ポツリナムの仇！

フルフル、ポツリナムの槍を受けて死のうとする。  
しかし、メタンがそれを庇い、身代わりになる。

フルフル メタンちゃん！

フルフル、ポツリナムから槍を奪う。  
ポツリナム、槍を向けるフルフルに怯え退場。

メタン ごめんね。ほっとけなくて、  
フルフル いいや。  
メタン ホントはね、フルフルが分裂出来ても出来なくてもどっちでも良かったんだよね。  
フルフル ……。

メタン　フルフルが自分に自信が持てるんだったら、どっちでもいいの……。ごめんね。

メタン、息絶える。

フルフル　……。

フルフル、槍を持ってその場から去ろうとする。

蠅　ちよつと、

フルフル、蠅に槍を向ける。

蠅　……。

フルフル、退場。

## シーン17

執筆中の葦山。それを見守る定禅寺がいる。  
途中で書く手を止める。

定禅寺      ワッツハーブン!?

葦山      先生、ダメです。

定禅寺      オーマイガー。

葦山      どうしても面白くならないです。もう書くことが思いつきません。

定禅寺      マサル。

葦山      ……。

定禅寺      アーメン。

葦山、その場に倒れ込む。

葦山、リモコンでテレビの電源を入れると滝川、登場。

滝川      ゲリです。本日のトップニュースです。ノーベル文学賞受賞者の定禅寺兼安さ

葦山      んが失踪いたしました。

滝川      えっ

自宅の机から「もう書くことが無くなったので死にます。」という書置きが見  
つかったとのことです。

\*1と\*2は同時進行になる。

\*1

滝川      次のニュースです。本日未明、行方不明だった小野方さん53歳が無事発見さ  
れました。人に噛みついて回っていたところを保護されたとのことです。

滝川、退場。

\*2

葦山      どこへ消えたんですか、先生!

定禅寺      ノー。

葦山      先生がいなくなったら俺は何を希望に生きて行けばいいんですか!?

定禅寺      ノー。

葦山      書くことが無くなったなら作家は死ぬんですか? なら、僕だって死ぬしか無い  
じゃないですか。

定禅寺、BIGカツで葦山の頬を打つ。

定禅寺

狼狽えるんじゃない！

葦山

先生。

定禅寺

葦山君、本来死ぬべきはこの私だ。

定禅寺、懐より短剣を取り出す。

葦山

そんな、無理ですよ。

定禅寺

妄想の私を打ち消し、自分の作品を書いてくれ。

葦山

もう書けません。自信がありません。

定禅寺

最初は自信があるって彼に言っていたじゃないか。

葦山

……。

定禅寺

君が一番孤独な時が、まさるなんだろう？ 人の気持ちに分からなくて、自分に

自

信が持てないなら孤独な自分を書くしか無いんじゃないか？

葦山

……。

定禅寺

さあ、刺してみろ。

葦山

……先生え！

葦山、定禅寺を短剣で突き刺す。  
倒れる定禅寺。

定禅寺

よくやったぞ。

葦山

ありがとうございます。

定禅寺

……私は、君を何からも救えていない……君は最初から孤独だ。

暗転。すぐ明転すると、定禅寺先生の姿は無い。

葦山、小説の執筆を再開する。

## シーン18

アクネスがいる。  
槍を持ったフルフル、登場。

アクネス　まさかあなたから私の元に出向くとはね。  
フルフル　……。

アクネス　頼むから死んでくれませんか。ウイルスがあなたの体を食い破って拡散される前に。

フルフル　嫌だ。

アクネス　まだ生きていたいと。

フルフル

フツーに自分に納得が行くように生きていたいだけなのに。どうして僕だけがこんな目に合わないといけないんだよ……。分裂できる、できない。どっちでもいい。どっちでもいいはずだ。差なんて無くなればいいんだよ。

槍を持った複数の細菌たち、登場。

アクネス　やれ。

フルフル、細菌たちの槍に刺され絶命する。

アクネス　これで細菌コロニーの平和は保たれた

突如分裂を起こすフルフル。フルフルの分身が他の菌を襲い始める。やがて、この人間の死体はフルフルの種族に支配される。

地響きの音。

矢本、登場。

矢本　……もしもし笛吹くん？　全然連絡取れなくてごめん……。迷惑かけてごめんね。私、さつきまでテレビ局にいたの。今は森林公園に場所を移して電話してるんだけど……。バラしちゃった。ゴーストライターのこと、ごめん、私もう耐えきれなくて……。今でも笛吹くんのこと好きだよ。でも、

背後より腐敗した男登場。

矢本　臭っ

腐敗した男矢本の腕を掴む。

矢本 え？

## シーン19

渋谷のラブホ街。

その一角にある公園のベンチに葦山が座っている。

蛇田、登場。

蛇田 今回もご指名ありがとー。

葦山 しのぶちゃん。

蛇田 どうした？ いつもより浮かない顔してるぞ？

葦山 小説出したんだけど、全然売れなくてさ、

葦山、蛇田の膝に頭を置く。

葦山 一応、何件かアマゾンのレビューがあっただけだし、全部不評ばかりだし

……。自信作だったんだけどなあ。

蛇田 私は面白かったと思けどな。

葦山 あれ？ しのぶちゃん読んでくれたの？

蛇田 だって、葦山さんが勧めるんですもの。

葦山 しのぶちゃんも本読むんだね。

蛇田 趣味なんですよ。意外でしょ。

葦山 笛吹恭平って作家は知ってる？

蛇田 存じ上げております……。あっ知ってますよ。大ファンなんですよ。私。

葦山 笛吹のファンなのか。

蛇田 ええ、

葦山 どのぐらい読んでるの？ 彼の作品。

蛇田 デビューから全部。

葦山 俺もだよ。

蛇田 なぬっ

葦山 最近読み始めたんだ。

蛇田 じゃあ、笛吹神の現在の神殿の位置はご存知か？

葦山 え？ どういうこと？

蛇田 俗世でいう自宅のこと。

葦山 あいつの自宅知ってるの？

蛇田 もちのろん。

葦山 筋金入りだね。しのぶちゃん。

蛇田 へい。

葦山 あいつ、今どこに住んでんの？

蛇田 渋谷でござる。  
葦山 いいとこ住んでんなー。つていうか、ここら辺か。  
蛇田 ぶひひ、うひやひや、ぐじゅじゅ、  
葦山 笛吹のことになるかとホントキヤラ変わるね。しのぶちゃん……。そろそろホテル行こうか。

ホテルに到着する、葦山と蛇田。

蛇田、部屋にあるテレビのリモコンをつける。

滝川、登場。

大勢のマスコミ陣登場。

滝川 今、笛吹氏がいるとされる。自宅の前には大勢のマスコミ関係者が殺到して  
ります。ゴーストライター疑惑は本当なのでしょうか。

……。

葦山 笛吹神!?

蛇田 今、自宅から笛吹恭平氏が出てきました。

滝川 (口々に) 笛吹さん! 一言ください。

記者たち ゴーストライターの存在は本当なんですか?

記者1 ……。

記者2 デビュー作から全部ゴーストライターによる創作なんですか?

笛吹 違います。

記者3 先日死去された定禅寺兼安さんについてどう思われますか?

笛吹 (鼻で笑ったように見えた。)

マスコミ陣、笛吹退場。

葦山 (笑い出す)

蛇田 どうされたんですか?

葦山 もう、もう、どうすればいいのかわからなくてさ、

……。

葦山 結局、俺もあいつも屑じゃん。生きてる意味ねー……。しのぶちゃん、笛吹の自  
宅の住所教えてくれない?

蛇田 どうしてですか?

葦山 いいから、教えて。

蛇田 ……嫌です。

葦山 教えてよ。じゃないと、今、俺何するか分からないよ。

蛇田 ……。

葦山、蛇田を殴りだす。

蕪山 お前さあ、もしかして俺とセックスしてる時も笛吹のことでいっぱいだったのかな？ なら、凄い皮肉なんだけど、俺凄い笛吹のこと大嫌いなんだよね。笛吹のこと忘れたくて、ここでお金払ってるのにさ、どうしてくれるの？

蛇田 書きます！ 書きますから……！

蕪山、蛇田にメモを渡す。  
泣きながら笛吹の住所を書く蛇田。  
蕪山、そのメモを蛇田より受け取る。

蕪山 お前、笛吹のファンなんだよね。  
蛇田 ……。  
蕪山 あのニュース聞いて絶望しないの？  
蛇田 いいえ。  
蕪山 どうして？  
蛇田 ……笛吹神の小説は、私を不幸のどん底から救ってくれた神だから。

蕪山、黙って退場。

蛇田 ……あなたの、小説には何もなかったわ。自分を救うために書いてるんですもの。

ラブホから出る蕪山。  
鉄パイプを見つける。  
反対側より、まさる登場。

まさる ……。  
蕪山 ……お前か。  
まさる おう、  
蕪山 どうした？ 俺を止めに来たか。  
まさる いいや。  
蕪山 じゃあ、なんだ。  
まさる お礼を言いたくてさ、  
蕪山 お礼？  
まさる 俺を産んでくれてありがとう。  
蕪山 ……。  
まさる あばよ、分身。



## シーン20

笛吹、登場。

電話の着信音が聞こえる。

通話中、後ろより葦山がゆっくり現れて笛吹の背後に立つ。

笛吹　もしもし？

蛇田　（聞こえない声で）もしもし。

笛吹　え……？　もしもし……音が遠くて聞こえないんですけど、

蛇田　（聞こえない声で）もしもし

笛吹　え？

蛇田　もしもし。

笛吹　あっ聞こえました。聞こえましたよ。もしもし、

蛇田　もしもし、笛吹神ですか。

笛吹　……なんで君がこの電話番号を知ってるんだ。

蛇田　あ、切らないで、今すぐそこから（再び聞こえなくなり）逃げてください。

笛吹　え？

蛇田　（聞こえない声で）逃げてください。

笛吹　もしもし……、なんだよ。

笛吹、電話を切ろうとする。

蛇田　逃げてください。

笛吹、葦山に後頭部を殴られる。

なすすべもなく倒れる笛吹。

沈黙。

葦山、その場から去ろうとするが、意識を失ったはずの笛吹が起き

上がり、ゆっくりと葦山へ歩き出す。

葦山、もう一度笛吹の頭を鉄パイプで殴るが、崩れない。

笛吹、葦山の腕に噛みつく。

笑い出す葦山。

笑顔を残しつつゆっくりと暗転。



葦山 俺もだ。

2人、笑い合う。

葦山 笛吹 ……行こう。  
……どこへ。

2人、倒れる。  
暗転。

— 完 —